

編集 後記

編集顧問 町田豊平
編集委員 郡健二郎

小川秋實 秋元成太 村井 勝
藤岡知昭 大家基嗣

今年の内分泌外科学会は関西医科大学の松田公志教授が会長で、大阪千里で行われました。懇親会は会場内のポスターを見ながら行われ、和やかな雰囲気の中、学術的にも充実した会でした。会場に隣接した阪急ホテルは予約がとれず、秘書がとってくれた別の阪急ホテルは学会場から少し距離があり、ホテルにチェックインした時はすでに深夜でした。

翌朝寝ぼけながら、レースのカーテンをあけて窓の外を眺めた瞬間、眼の中に飛び込んできたのは「太陽の塔」でした。そうか。このホテルは万博の会場跡地に隣接して建てられて当時話題になったホテルであったことに気づきました。自分の頭のなかで、視界に入った建造物が太陽の塔であることを認識するのに時間を要した気がしました。それと脳が認識するには太陽の塔という名称が必要であり、名前がわかることによって、脳は認識を終えて「安心」したことがわかりました。

何故こんなことをくどくどと述べるかと言いますと、皆様も同じ印象を持っていられるかも知れませんが、「太陽の塔」はどうみても違和感を覚える建造物だからです。小学生だった私が感じた印象は40年の時を経ても変わらないことにむしろ驚きました。作者岡本太郎は、子供にも大人に対しても安住を許さない挑戦状を叩きつけているような気がします。

そもそもこの建造物は何なのか。この異様さは喻えようがないし、太陽の塔という名称も意味不明です。

鳥のようでもあるが、お腹に顔があり、背中側に太陽の絵があります。近づいて眺めると、猫背であることに愛嬌を感じました。そういえば、ウイスキーの宣伝で、岡本太郎は「グラスの底に顔があってもいいじゃないか。」と言っていたことを思い出しました。グラスの底に顔が彫ってあれば何となく落ち着かないのが当然だと思います。

「それは異次元宇宙の彼方から突如飛来し、ずうんと大地に降り立って動かなくなり、もう我々人類には手のほどこしようもなくなってしまったという雰囲気が漂っていた。あまりに滑らかに彎曲する体格（中略）、ことごとく我々の神経を掻き乱さぬものはない。」（森見登美彦著：太陽の塔、新潮文庫）と表現されています。小説「太陽の塔」は京都の学生の思い込みの激しさと妄想癖を小説にしたものです。主人公はある女性を好きになり、ストーカー的な行動に終始します。私にとっては読後感が悪く、その後私は同じ作家の小説は読まず、文庫もすぐに古本屋に持って行きました。この編集後記を書きながら、今やっと作者のプロットに気づきました。この読後感の悪さ、共感を呼ばない違和感ゆえに作者は「太陽の塔」というタイトルをつけたこと、それを見越して作者はこの小説を書いたことです。上記の引用を書き写すために、私はまた新潮文庫を買ってしまいました。これも作者の企てだったかもしれません。

（大家基嗣）

臨床泌尿器科（第64巻 第12号）（通巻770号）
2010年11月20日発行（毎月1回20日発行）

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

定価 2,835 円（本体 2,700 円＋税 5%）

2010 年 年 ぎ め 予 約 購 読 料 41,360 円
電 子 ジ ャ ー ナ ル 関 覧 オ プ シ ョ ン 付 53,800 円
増刊号を含む13冊、税込、送料小社負担

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709
(担当：登・安部)
販売部直通 (03) 3817-5659・5660
ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp
振替口座 東京 00170-9-96693 番
印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005
広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 医学書院ホームページ（インターネット）は Web <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- 「臨床泌尿器科」のページは <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinpi/> です。
- 【JCOPY】<（社）出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。